



学校教育目標 「自ら考え 進んで実行」

～子どもたちの可能性の芽を膨らませる～

めざす子ども像 「かしこく、つよく、キラリかがやくよしじまっ子」

- (1) [いのちとまなび] わかる喜びを感じ、楽しく学ぶ子ども
- (2) [自尊感情と自立] 夢や希望を持ち、高みをめざす子ども
- (3) [ふるさとと共生] ふるさとを誇りに思い、地域を思う子ども



新たな年を迎えて



校長 石山 重典

新年あけましておめでとうございます。旧年中は本校教育活動等について、ご理解とご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。また、他地区から着任した若輩の新米校長に対して、温かいお言葉やご指導を賜りましたこと、重ねて御礼申し上げます。今年も「キラリかがやくよしじまっ子」の育成に力を尽くし、活気のある、幸福で爽やかな風が吹きつける吉島地区になるように力を尽くしていきたいと考えております。どうぞ変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

さて、今年「庚子（かのえね）」の年です。庚（かのえ）は、十干（じっかん）の7番目。植物の成長に例えると、成長を終えた草木が次の世代を残すために花や種子を準備する状態を表すのだそうです。子（ね）は、十二支の最初にあたり、同じく植物に例えると、固い種に押し込められていた生命が、新たに芽生えて、いろいろな方向に育ち始める状態というような意味があるのだそうです。

庚子（かのえね）の状態を人間や組織に当てはめると、

- 庚（かのえ） → 完成した個人・組織から不要な価値観をそぎ落とし、新しい環境へ対応する体制を整える年
- 子（ね） → 個人は自分の軸となる価値観をしっかりと持ち、組織は新たな局面に対応できる人材の育成・活用に取り組む年

といったように、過去の成果から引き継ぐべきものを維持しつつ、新たな環境や局面に向けて体制を整えていくと良い年となるのだそうです。

このようなことを受け、私たち教職員は新たなものに対応できる子どもたちを育成するための指導方法、対応等の研修や実践を通し、教職員としてのぶれない核と柔軟な思考を身に付ける年にしていこうと話しました。そして、子どもたち一人一人が主体的に学び、そして伸びることのできる教育活動を展開していくことを確認しました。

また、子どもたちには始業式で「自分の花」を咲かせるために、3つ頑張ることと話しました。

- (1) 「ありがとう」と何回も言われるように行動できる、思いやりのある人間になること
- (2) 「ありがとう」と感謝の気持ちを持てる人間になること
- (3) 新しいことに挑戦する勇気と冒険心を持ち、失敗を恐れないうまい人間になること

私は吉島小の子どもたちに蒔いたこの種が、川西町や吉島地区が抱える問題を解決する人間となること。さらには、中東で起きているきな臭い国際情勢や地球温暖化等の地球規模での問題を解決する人間となることを信じていきたいと思っています。

考えが壮大になってしまいましたが、子どもたちの可能性に大きな期待をよせる校長の思いであるとお許しください。お願いいたします。

思いやり
感謝
たくましい

川西町新春交歓会



春を呼ぶ鼓動!

和太鼓「風きらい」!

1月7日(火)午後3:00から川西町中央公民館大ホールで川西町新春交歓会が行われました。まさしく川西町の中心となる方々の新春顔合わせ会です。そのオープニングセレモニーを、吉島小の子どもたちが中心となる“和太鼓「風きらい」”が務めました。太鼓の鼓動が川西町を始動させました!

真剣! 張り詰めた空気! 全校での書き初め!

1月9日(木)3時間目、全校での「書き初め」を行いました。授業でも練習しましたが、本番の緊張感と、本気で取り組む姿がとても凛々しく、新年の一步目となりました。



6年生は「夢の実現」と書きました。今年は小学校を卒業し、中学校での新たな生活が始まります。自分探しの旅の第2ステージとなります。無限の可能性を秘めた自分をどう伸ばすかは自分次第です。自分を信じ、更なる活躍を期待しています。



<これからの行事予定>

- 2月4日(火) 新入学保護者説明会
- 7日(金) 授業参観・懇談会
- 12日(水) 学校運営協議会④
- 14日(金) 児童会総会・決意発表会、PTA 運営委員会
- 3月3日(火) 6年生を送る会
- 10日(火) 見守り隊感謝の会
- 17日(火) 修了式
- 18日(水) 卒業証書授与式



夢の実現